

令和3年度 学校評価一覧表

本年度の重点目標	<p>★よりよい授業づくり</p> <p>系統性のある教育課程の構築・PDCAサイクルに基づく改善・障害の多様化、重度化への対応・キャリア教育・ESD活動・食育の推進・現職研修、自主研修の充実・教師同士の連携・GIGAスクール構想の実現・教材データの共有</p> <p>★安全・安心な学校づくり</p> <p>マニュアルの精査・実効性のある訓練の実施・学校事故の未然防止・的確、迅速な対応・いじめ防止・居場所づくり・人権への配慮・個人情報管理・多忙化解消</p> <p>★開かれた学校づくり</p> <p>保護者との協力体制の構築・関係機関との連携・地域の教育資源の活用・校内、校外のサポート体制づくり・効果的な情報発信</p>
----------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

項目	部	重点目標	具体的方策	留意事項
よりよい授業づくり	小学部	目指す子ども像を実現するための年間指導計画の作成	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活の指導、生活単元学習・遊びの指導、自立活動の3グループで取り組む。 昨年度に作成した指導内容表を活用する。 実際に指導内容表を使って年間指導計画を作成する。 作成した年間指導計画に沿って授業を進めていき、そこでの問題点を受けて、指導内容表を改善する。 	年間指導計画作成時に指導内容表を活用する。
よりよい授業づくり	中学部	生徒の安全を重視した生活単元学習の見直し	<ul style="list-style-type: none"> 安全安心な学習環境の在り方を考えながら、中学部段階のねらいを達成するための計画を考える。 校内研究で作成している学習内容表の改善を行う。 	令和2年度の経験を生かした改善・評価を行う。
開かれた学校づくり	高等部	開かれた教育課程の推進と卒業後の生活に生きる教育活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 作業学習と校外での体験的、実践的な活動との関連性を高め、社会性及び職業能力の習得につながるようにする。 農業大学校や企業等との農福連携を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 作業学習と職業コースにおける取組について見直しを行い、より関連性の高い学習活動とする。 定期的に各作業班における検討会を開催する。 農業大学校や企業等との連携を深め、園芸に係る作業内容(商品の仕分けや梱包等含む)の充実を図り、作業学習の活動内容に生かす。

項目	担当	重点目標	具体的方策	留意事項
よりよい授業づくり	総務	教師同士で連携し、確かな学習支援が提供できる体制を整える。	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度作成した倉庫にある教材教具の一覧データを継続使用できるよう、データ更新の体制を整える。 他の校務分掌と連携し、教材教具ライブラリーの充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 他の校務分掌主任、教科主任、学年主任等と連絡を密にして、新しく作成や購入した教材教具の追加、及び使っていない物品の廃棄を定期的にデータに反映する。 データの活用や更新方法等についてのアンケートを実施し、倉庫内の教材教具を有効に利用する手立てを探る。
よりよい授業づくり	教務	日課表の改訂と教育課程の再構築	<ul style="list-style-type: none"> 大まかな検討スケジュールを提示し、見直しをもって計画的に進める。 案を作成するにあたり、優先事項や配慮事項を調査する。 様々な立場から検討し、実施をイメージした改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 子供の生活や学習にとってどうかという視点を第一に検討する。 令和4年度からの実施に向けて、12月に保護者や関係機関に説明することを目指す。
安心・安全な学校づくり	指導安全	防犯・防災体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> 教員向け避難訓練の充実 様々な想定での不審者対応訓練 	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒や職員の救助(けが等)やパニックになって動けなくなった児童生徒への対応など、想定される状況を複数考えて実施する。 他校の取組を参考にしていく。
安心・安全な学校づくり	進路支援	進路行事・業務の精選また効果的な改善	<ul style="list-style-type: none"> 各進路行事の意義を見直しながら精選する。 業務の遂行に関して効果的な実施方法の改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 各進路行事に対し、目的や日時、場所、参加者の見直しを行い必要性を見直す。場合によっては行事の廃止を縮小、実施方法の変更行う。 職員の負担感の軽減だけでなく、外部機関や保護者の負担感にも視野を広げて、効果的な業務遂行ができるようにする。
開かれた学校づくり	支援	センター的役割としての教育相談活動(ひまわり相談)の充実	<ul style="list-style-type: none"> 校務部会において支援方法を検討する 他の校務分掌と連携をとり、より専門性を発揮した相談活動を実施する 	<ul style="list-style-type: none"> サポートデスク受付後から担当する職員を決め、相談者からの聞き取り、校務部会での提案、相談活動の実施までを行う 校務部会の時間を利用し多角的な観点からの支援方法を検討する 相談内容によって、他の校務分掌主任やコーディネーターにも相談活動への参加を依頼する

よりよい授業づくり	研修	新学習指導要領に対応した学習指導内容表を作成する。	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度に作成した学習指導内容表を実際に活用して年間指導計画を作成し、PDCAサイクルに基づく改善を図る。 部を超えたチーム編成を行い、日常生活の指導、生活単元学習、作業学習、自立活動の各チームでチームリーダーを中心に進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度に作成した学習指導内容表についての周知を徹底し、実際に使用することで問題点を洗い出し活用しやすいものに改善していく。 各チームのリーダーと定期的に話し合いをし、研究の進め方やまとめ方の共通理解を図りながら進める。
開かれた学校づくり	情報図書	校外に向けて積極的に情報発信を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 校外向けホームページの更新頻度を上げ、学校行事や授業の様子を積極的に伝えていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 小学部から高等部まで、各学年に原稿を依頼する。写真を活用し、簡易な文章にすることで、負担感を減らして、学校全体で情報発信をする意識をもってもらう。
安心・安全な学校づくり	保健体育	ICTを活用した保健教育の実践	<ul style="list-style-type: none"> 緊急時の対応マニュアル動画および各種検診の手順動画を活用する。 アンケートを実施し、よりよいものに改善する。 	<ul style="list-style-type: none"> 動画についての情報を周知し、職員間で共有する。 職員に動画についてのアンケートを実施し、改善していくことでより活用しやすいものにしていく。
よりよい授業づくり	自立活動	効果的な連携や確かな学習支援が提供できる体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> 保有する教材・教具の効率的な管理の仕方を検討し、有効に活用できるようにする。 他の校務分掌と連携し、教材・教具ライブラリーの充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 自立活動室の整備をし、教材・教具の貸し出しをデジタル化する。 校内研究で自立活動の指導内容に焦点を当て、そこで検討した教材・教具について、データ化し蓄積していく。

学校改善のための評価項目(学校関係者評価)

よりよい授業づくり	<ul style="list-style-type: none"> 各部において、新学習指導要領を意識した年間指導計画の作成や授業の展開を行う。 研修や授業研究を充実させ、職員の実践力の向上を図る。
安全・安心な学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> 防災、不審者対応等のマニュアルを整備するとともに、職員の意識能向上を図る。 合理的配慮を意識し、人権に配慮した児童生徒への指導や学習活動の展開に努める。 コーディネーター会を中心に、児童生徒の情報や課題を共有し、チームとして課題解決に向けて取り組む。
開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> 各校務における横のつながりを意識するとともに、関係機関との連携を生かし、高い教育効果を得るように努める。 HPを見やすく改善するなど、情報発信の充実を図る。